
危機感（愚痴

鳳圭介

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

危機感（愚痴

【Nコード】

N1623Z

【作者名】

鳳圭介

【あらすじ】

家で、親に言われ続けていることです。

(前書き)

愚痴です。愚痴以外の何でもありません。

ねえ、危機感って何？

どうすれば、知ることができるの？

誰でもいいから『欠陥品』の僕でもわかるように教えてよ。

「もっと危機感持ちなさい」「なんでそんな顔できるの？」「もっと危なくなってから気づくでしょ」

そんな言葉たちが僕の目の前を放物線を描いて飛んでいくように見えた。僕に向かってきたその言葉は僕をすり抜けて地面に落ちた。言葉の意味を理解するだけで、その感覚がわからない。知らない。感じたことがない。

全く感じたことがないわけじゃない。事故しそうになったり、変な人に睨まれた時に、そんな感じはする。

でも、僕の『危機感』と、家族の言っている『危機感』は違うみたい。

みんな、知っていて当然って言いたいみたい。でも、僕にはそれがない。

—————自分にとっての『普通』が、他者にとっての『普通』になるとは限らない。物事を、自分の定義だけでは計りきれない。

そんなことを、僕の家族は解らないみたい。僕の家族は、僕が理解していないと思ってるみたい。

僕だってね、わかっているんだよ？でもね、知らないんだ。

だから、教えてよ。

僕に分かるように、感じさせてよ。

僕みたいな欠陥品でも、わかるように感じさせてよ……………。

それとも、僕の考えは間違っていて、その僕…………『欠陥品』には

到底理解できないことなの？

誰か、教えてよ……………。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1623z/>

危機感（愚痴

2011年12月5日21時57分発行